

ビジョンを描く

～ 自分のありたい姿（理想像）をイメージする ～

校長 神戸秀巳

これまで、機会を捉えて、『勉強するのは大学（短大、専門学校）に入学するためではない』と繰り返し言ってきた。入学を目的に据え、目的を果たした後に、歩みが止まったり、どうして良いかわからずに苦しむ人たちを見てきた。なので、今後も言い続ける。

『視野を広げると面白い世界が見える』とも言ってきた。神奈川⇒全国⇒世界へ、現在⇒未来へ視野を拡大することにより、「自分の活躍の場や将来の可能性が広がる」ことを実感すれば、当然気持ちと行動に変化が起こり、「本気+実践+気づき⇒前進」となる。

あなたが頑張るのは・・・
・誰のためですか？
・何のためですか？

行動を起こさないあなたに・・・
・なぜ頑張らないのですか？

今年 1 月に、宮城県の友人からいただいた「全国の受験生へのエール」の言葉である。『「吐く」という漢字は、口から+もーも吐くけど、自分の言葉からマイナスを取ると、「叶う」という漢字になる。マイナス言葉を話さないようにして、自分の夢を叶えてほしい。』

ここで、私自身の経験から感じとった、「自分のありたい姿（理想像）」に近づき、叶えるための 3 つの < S > を皆さんにお伝えする。

◆本質を究め、実現に向かうための 3 S

- ・ しんけん さ
本気でものごとに取り組むさま。
- ・ したたか さ
粘り強くてしっかりしているさま。しぶとさ。
- ・ しなやか さ
常識を疑い、変化に対応できる柔軟性。へこたれても立ち直れる回復力。

◆学習効果を高めるための方策

- ・ 時間の 3 点固定
起床時刻、家で学習を始める時刻、就寝時刻
- ・ すきま時間の活用
電車に乗っている時間、早めに学校に着いてからの 10 分、寝る前の 10 分 など
- ・ 明日に持ち越さない
記憶してから、1 時間経過で 56% 忘れる、1 日（24 時間）経過で 74% 忘れる

■学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であることを思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、よりいっそう学びたくなる。(アインシュタイン、高名な理論物理学者)

■私はよく言っています。「失敗は恐れてはいけない。失敗しない人は成功もできない。」
「成功者は誰だって失敗している」と。(赤崎勇、2014 年ノーベル物理学賞受賞)